



巡回展「里帰りした明治期の植物化石」を開催します

国立科学博物館主催、佐渡博物館共催、佐渡ジオパーク推進協議会後援の巡回展「里帰りした明治期の植物」を下記の日程で開催します。

【会 期】 令和7年7月 19日(土) ～ 11月3日(月・祝)

【会 場】 ①佐渡博物館 1階 ロビー 7月 19日(土) ～ 8月 31日(日)

②佐渡市役所第1庁舎 1階 多目的スペース 9月4日(木) ～ 9月30日(火)

③相川支所 1階 ロビー 10月3日(金) ～ 11月3日(月・祝)

【その他】 佐渡博物館のみ入館料が必要です。

大人 500円・小中学生 200円(団体 15名以上2割引)

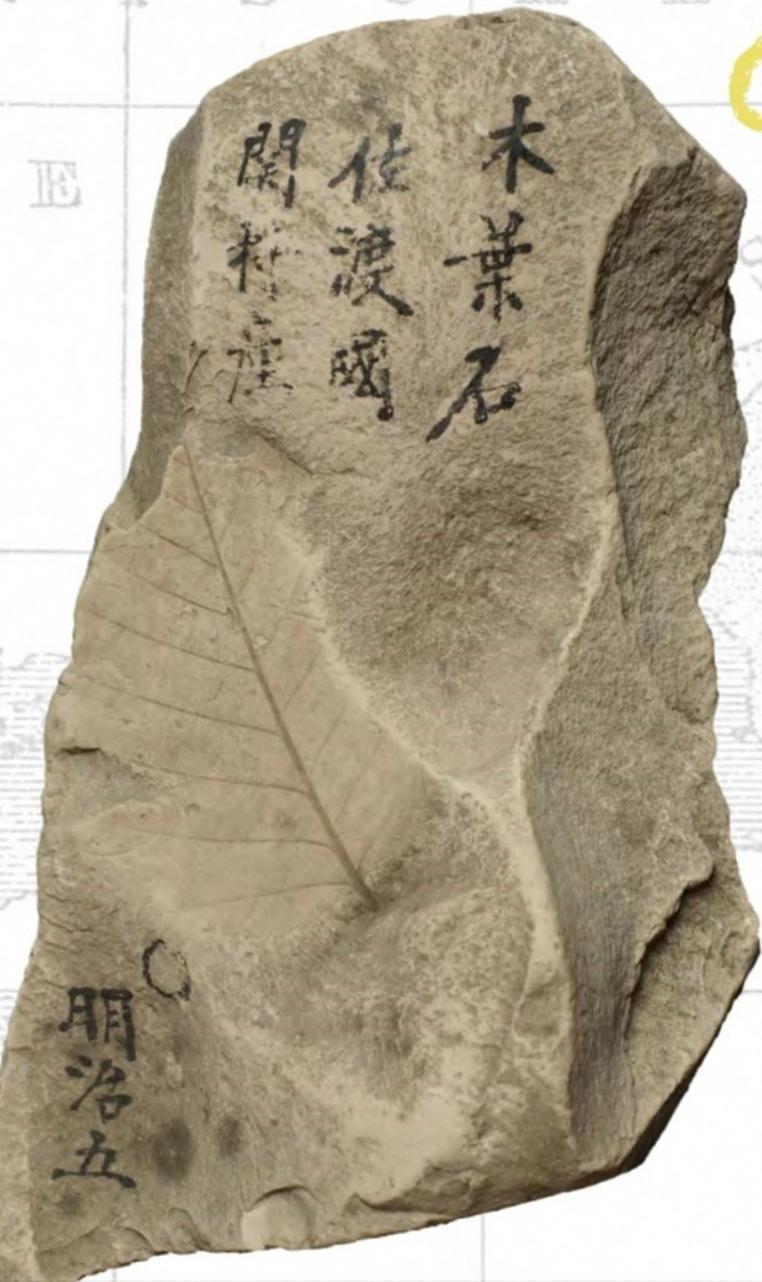


本件についての問い合わせ先
佐渡市役所観光文化スポーツ部
文化スポーツ課 博物館係
担当：庄子
電話（直通）0259-52-2447



里帰りした

明治期の 植物化石



2025
7.19^土
↓
8.31^日

佐渡博物館

2025
9.4^木
↓
9.30^火

佐渡市役所

2025
10.3^金
↓
11.3^{月祝}

佐渡市役所
相川支所

主催：国立科学博物館・佐渡市観光文化スポーツ部

後援：佐渡ジオパーク推進協議会

約 150 年ぶりに 里帰りした化石

裏面の記述から、明治 5 年に採集されたものとわかる。化石研究の土台がなかった当時の日本では、種類の同定が行われず、「木葉石」と呼ばれていた。



ウィーン万博に向けて明治 5 年 (1872 年) に全国で行われた産物の収集事業。佐渡からもさまざまなものが提供され、それが日本で最初の博物館開設へとつながりました。このたび、当時収集され国立科学博物館で保管されてきた植物化石を里帰り展示することとなりました。

本展では歴史的に貴重な化石とともに、収集の経緯や周辺事情、そして、この事業をきっかけに発展していった地域の化石研究の歴史を紹介します。

佐渡の化石を 初めて 世界に示した論文



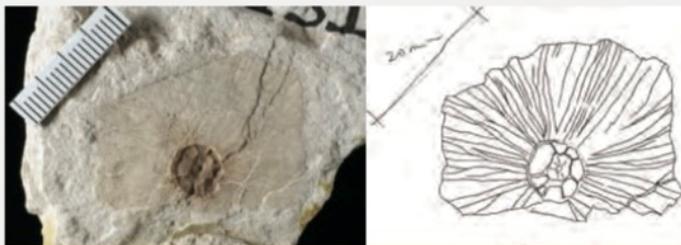
全国 32 産地の化石を報告した論文 (Nathorst, 1888) ナトールスト自身は来日しなかったが、ナウマンやその学生が採集した標本を研究した。

本展の開催にあたり
関係各機関にご協力をいただきました
ここに厚く御礼申し上げます

飯田市立中央図書館
東京国立博物館
長野県立歴史館
名古屋市東山植物園

本展の準備にあたり
国立科学博物館賛助会費による
支援をいただきました

”発見された” あらたな化石



現在は中国にだけ分布するキクロカリア (クルマミ科) の実の化石。寒冷だった関の時代には珍しく、分布の変化を考える上で貴重な資料。

佐渡博物館



〒952-1311 佐渡市八幡 2041
TEL | 0259-52-2447

入館料 | 大人：500 円 (400 円)
小・中学生：200 円 (160 円)
※() は 15 名以上の団体料金

佐渡市役所



〒952-1209 佐渡市千種 232

佐渡市役所相川支所



〒952-1511 佐渡市相川栄町 27